

除雪連絡協議会で寄せられた意見

◆除排雪事業の業務体制

開催月日	地区名	意見内容	回答内容
5月21日	永山・新旭川 役員会	永山・新旭川地区の苦情について、ザクザクが一番多かったのか。	ザクザクに関する要望が一番多い状況でした。
5月27日	神居 役員会	市民からの問い合わせに関わる、モラハラ・カスハラについて問題になっているが、情報があれば共有願いたい。	時折市民の方から厳しい口調での問い合わせを受けることはある。また、除雪センターでは通話録音をしており、後で共有し対応を検討することもあります。
5月31日	春光・春光台・鷹の巣 役員会	センターを4地区に統合したが不便はあったか？（他の役員_連絡も通じてその日のうちに作業してもらえたので不便はなかったが、心配はあった。）統合は継続していくのか。	深夜の電話の数などが少ないこともあるので統合を継続します。また、大雪の際などは、天気予報を見ながら時間の延長や人員の増員を行うことで対応します。

◆路面管理手法の検討

開催月日	地区名	意見内容	回答内容
5月21日	永山・新旭川 役員会	圧雪管理モデル地区では圧雪厚を15cmで管理しているが、暖気になってもザクザクにならないのか。	圧雪厚15cmでもザクザクにはなりますが、今年度は平均10cm以下で管理できている状況です。今後も検証方法など検討を進めていきます。
5月28日	北星・江丹別 役員会	ザクザク時の対応がとても早く助かった。地域住民にとって緊急対応できる体制が取れているのはありがたい。	
5月28日	北星・江丹別 役員会	今年度は幹線などで雪山を残しつつ、ロータリ除雪車で拡幅している路線がありよい方法だと感じた。 ザクザク処理の対応について、モデル地区の説明があったが、全地区一気に対応することは難しいと思うので、ザクザクが発生しやすい地域を特定し、優先順位をつけながら取組を広げることがよいのではないかと。	
5月29日	神楽・緑が丘・西神楽 役員会	資料に圧雪管理のモデル地区のメリットデメリットとあるが、削った雪が道路脇にジグザグに置かれて交通に支障が出ている。今後はどのように考えているのか。	生活道路排雪2回の取り組みがザクザク対策に良い効果が出ています。 圧雪を薄く維持する方法では、削った雪で道路脇の雪山が高くなります。 今後の方向性としては排雪2回を継続し、大雪が降った場合や暖気でザクザクとなった場合に雪をめぐり上げ、ザクザクを抑制する対策を考えています。

◆歩道（通学路）除雪

開催月日	地区名	意見内容	回答内容
5月27日	神居 役員会	環状線より山側の西1線道路の歩道除雪がされておらず住民が車道を歩く状況になっている。	郊外の除雪は除雪トラックを使った除雪で、除雪が入る際に歩道も一緒に作業する方法である。歩道のみ除雪は行っていないため場合によっては積もっていることがあります。
5月27日	神居 役員会	車道除雪後の歩道との段差が大きく苦慮した。	歩道除雪は学校周辺や幹線道路で実施するが、排雪の際に段差を削るなど対応を取りたいと考えます。
5月31日	春光・ 春光台・ 鷹の巣 役員会	学校周辺の歩道除雪が平日は行われているが、土日が行われてないようにみえる。	曜日に関係なく降雪状況に応じて基準どおりに作業しています。
6月21日	神楽・ 緑が丘・ 西神楽 書面会議	現在は車中心の社会ですが、高齢化に伴い今後、運転免許を返納する高齢者が増加する中、縫れず安心してバス停や駅まで歩ける雪道の確保が今以上に必要になると思います。	新たに歩道除雪を実施する場合、車道の有効幅員がこれまで以上に狭くなることや、オペレータや除雪機械の確保増など様々な課題があります。そのため、除雪企業と協議をしながら歩行者が安心して歩ける冬期歩行空間の確保に努めます。

◆オペレータの確保育成

開催月日	地区名	意見内容	回答内容
5月29日	神楽・ 緑が丘・ 西神楽 役員会	除雪オペレーターの育成と確保の状況、2024年問題について伺いたい。	上川管内で国や道を含めた協議会を開いており、現状は旭川市の企業体は人員の確保ができているが、道北地域は町自体の人口とともにオペレータも減っており、除雪は国道や道道は対応できるが、町村道は出来なくなる企業が出てくる恐れがあり、旭川も10年程度は大丈夫だが同じ状況になる心配があります。 当社では内部の世代交代はできているが、若年者の経験不足という実態があるため、経験を積む場を作っていきたい。 時間外については、夏場も含めて年間を通じて、労働時間、時間外の基準を確保できるよう、除雪にも不利益が生じないように考えています。

◆除雪マナー

開催月日	地区名	意見内容	回答内容
5月28日	東光 役員会	除排雪については市民のマナーを考えていけないといけない。 どこの町内が全体より著しく悪いという情報を教えてもらえれば、町内で回覧していくことも可能だし、逆に良いということもあれば周知できるが難しいだろうか？	町内会の取組内容については、補助金をもらっている取組や社会福祉協議会での取組については発信していますが、この町内会でこういう取組をやっていますというような発信はしていません。これに関しては、昔から個人レベルや地域の方々がボランティアをやってくれていると思いますが、それを一つ一つ取り上げていくのが難しいという部分があります。
5月29日	神楽・ 緑が丘・ 西神楽 役員会	雪出しパトロールに関して通報など雪出しの件数は何件あったのか。	雪出しパトロールとして、除雪の全線出動時の早朝に職員によるパトロールを実施しました。 R5年度に市全体の通報件数が129件、そのうち雪出し状況が確認できたのが85件、確認できなかったのが44件、口答で注意できたのが24件です。
5月29日	神楽・ 緑が丘・ 西神楽 役員会	市長のセンター訪問の際にパトロール車にスピーカーを設置し、雪出しの注意喚起などをできたらいいんじゃないかと意見をしたがR5年度は対応はできたか。	昨年度はシーズン中だったので対応はできていない。今年の市長の市政方針でも、広報車の話は出ており、検討を進めています。
5月29日	神楽・ 緑が丘・ 西神楽 役員会	除排雪アンケートの内容に道路の雪出しを見たことあるかなどの項目を追加した方がいいんじゃないか。	雪出しに関して同じような内容の設問はありますが、どの設問の回答がどう変わったか統計をとることがアンケートの目的で、毎年同じような内容となっています。そのほか5年ごとに実施する「満足度調査」においてはもっと詳しく設問を設定する予定です。
5月29日	神楽・ 緑が丘・ 西神楽 役員会	通年で道路への雪出しが酷く、バスの交通に支障が出ている。行政としてどうにか注意喚起してほしい。	昨年、市民委員会と実施した除雪合同パトロールでも確認した箇所、過去にも屋根雪が直接道路に落ちて道路管理者として指導した経過がある。今後も状況を注視しながら対応します。
5月29日	神楽・ 緑が丘・ 西神楽 役員会	昨年3路線あったバスが1路線になり、バス会社に理由を聞いたら道路への雪出しが酷く、運転に支障が出ると言われた。 雪出し禁止についてもうすこしPRできないのか。	除雪作業時に雪を出されることにオペレータも危険を感じています。雪出しが禁止なことを知らない市民も多いと思うので、文書だけではなくスピーカーなど、聞こえる形でもPRした方が良いと思っています。

◆除雪基準

開催月日	地区名	意見内容	回答内容
5月21日	永山・新旭川 役員会	積雪量はどこで計測しているのか。また、永山・新旭川地区は一つのセンターで管理していることから積雪量も地域毎ではないため、それぞれの積雪量を把握して欲しい。昨年の新旭川地区は酷い状態だった。	積雪量については气象台と各除雪センターで計測しています。 ただし、新旭川や永山の郊外でも除雪の出動判断のため、観測しています。 除雪については永山・新旭川地区同時に出動していたので地域で差をつけていませんが、オペレーターの技術によっては路面状況等が悪い部分もあるので、オペレーター講習を行い改善に努めています。
5月21日	永山・新旭川 役員会	除雪は7回出動したと記載しているが、市内全部含めた回数なのか。	市内の全線出動した回数が7回となります。永山地区に限ると8回全線出動しています。
5月27日	神居 役員会	同じエリアの中で除雪がされているところされていないところがあり、作業忘れなのではと感じることがあった。	建物はあっても居住していない路線などについては、耕作前の雪割除雪のみといった道路もある。しかし、除雪するべきところが抜けてしまう可能性もあるため、土木事業所または除雪センターまで御連絡ください。
5月28日	東光 役員会	学校周辺を優先して排雪するのはわかるが、雪が多く降るのは2月くらいまでで、「雪があまり降らない時期に2回目の排雪が入るよりも12月に排雪して欲しい」という声があった。	排雪の時期は、年内は生活道路の排雪ダンプのルート確保のためにも幹線道路を中心に実施し、年明けに生活道路という流れで実施しています。また、生活道路の排雪作業は1ヶ月程度かかることについて御理解下さい。
5月28日	東光 役員会	排雪の2回目が来なかったという苦情があった。	2月中旬に気温が急激に上昇し融雪が進んだことから、生活道路の2回目の排雪については、道路の状況に応じて排雪を実施しました。
5月28日	東光 役員会	除雪後の残った雪の処理について、広い場所に寄せるように置いていって、角が見えなくなって交通事故発生しないような処置をお願いしたい。	それぞれの間口の方から「どうしてここに積むんだ」というお声もありますので、交差点に積まざるを得ない状況もありますが、もし、危険な場合には、現地を確認した上で雪山を低くする等の対応に努めますのでご連絡ください。
5月28日	北星・江丹別 役員会	12月下旬～1月中旬にかけ、ザクザク処理の対応要望を除雪センターに連絡したが、対応に半日程度かかっていた。 北星全体で対応できる除雪車は、何台あるのか？	北星地区で日中対応出来る除雪車を通常1台用意しています。 ザクザクの場合など状況によって台数を増加させて対応しています。

◆除雪基準

開催月日	地区名	意見内容	回答内容
5月30日	豊岡・東旭川役員会	2～3cmと新雪が降ったときに除雪した形跡がない、踏みつけているだけという声も聞く。新雪が降った時にもう少し除雪して欲しい。	生活道路の除雪は15cm以上の降雪が見込まれ、車両の走行に支障が生じるような場合、通勤通学の7時までには作業します。 除雪後に雪が降った場合には、除雪していないように見えることもあります。
5月30日	豊岡・東旭川役員会	今は個々の住宅にほとんど融雪槽があったりして、宅地や歩道部を地面ぎりぎりまで除雪しているので、圧雪管理だと道路の中央が盛り上がっていくので車庫入れが不便だ。町内でも段差に関する意見が多い。	なるべく高低差が障害とならないように、作業の工夫をしていきたいと考えています。
5月31日	春光・春光台・鷹の巣役員会	ザクザクの処理を綺麗に除雪したところに置いていくことがあるが他には持って行けないのか。	住宅の出入り口を避けると雪を置く場所が限られているため難しい状況です。
6月21日	神楽・緑が丘・西神楽書面会議	12月から1月にかけて毎年のように重たいドカ雪や吹雪が発生する。また、3月には必ず一度は吹雪が発生し、北風が通りやすい場所に硬い吹き溜まりが出来て、歩行者にとって非常に歩きづらい道路になることがある。 この時期は、降雪量だけではなく、吹き溜まりの発生状況も確認する必要があります。	降雪や風速が強いときにはパトロール等により道路状況を確認し、必要に応じて吹き溜まりを解消するための除雪作業を行っておりますが、もし、通行に支障が生じている場合には、土木事業所または神楽・緑が丘・西神楽除雪センターまで御連絡ください。
6月21日	神楽・緑が丘・西神楽書面会議	生活道路の場合、「新たに降り積もる雪の深さ15cm」、「出動基準に満たない降雪が続いた場合には、道路状況に応じて除雪作業を実施」という除雪の出動基準となっておりますが、5年度の場合、当地住宅地の道路では、軽自動車が進めなくなる状況がありました。幹線道路に傾注していることと思いますが、住宅地の道路事情も確認してもらいたい。 また、ゴム長でも深さは20cmくらいで基幹道路へ出るまで大変です。 雪が高むと、朝7時の列車やバスに乗る通勤や高校等に通学している市民もいるため、基幹道路以外であっても朝早目の除雪が必要だと思います。	生活道路についても、幹線道路同様に路面や降雪の状況をパトロール等により確認しながら、除雪の出動判断をしています。 また、翌日の通勤通学の時間帯までに除雪作業を終わらせるためには22時までに出動判断が必要となります。 そのため、朝方のまとまった降雪があった場合には、学校周辺などの道路を優先した除雪作業を実施していますが、もし、通行に支障が生じている場合には、土木事業所または神楽・緑が丘・西神楽除雪センターまで御連絡ください。

◆雪処理施設

開催月日	地区名	意見内容	回答内容
5月28日	北星・江丹別 役員会	河川雪堆積場（金星橋下流右岸）など、グラウンド復旧や芝の復旧をしている堆積場は他にもあるのか？	河川雪堆積場でグラウンドの復旧や種子吹付を必要とする堆積場は他にも多数あります。
5月29日	神楽・緑が丘・西神楽 役員会	平成大橋上流雪堆積場サッカーグラウンドの復旧状況、松の木があったがそれが撤去されている、どこまで復旧されるのか。	サッカーグラウンドに関してはこれから土をいれて復旧します。松の木に関しては公園みどり課が管理しており、打合せの結果、維持管理が大変とのこと撤去しています。

◆その他

開催月日	地区名	意見内容	回答内容
5月21日	永山・新旭川 役員会	雪融け後に道路や縁石等の破損が見られるが、除雪業者でパトロールしないのか。	除雪業者でのパトロールは3月末まで実施し、その後は市職員や道路維持業者でもパトロールを実施し、破損箇所の発見に務めています。ただ、全てを把握できないので、破損があった場合には土木事業所へ連絡してください。
5月27日	神居 役員会	神居から2号線付近の環状線の除排雪の状況と、その先旭川医大に抜けていく道路ではレベルが違うように感じた。	環状線は北海道の管理のため、詳細には道への確認が必要となります。
5月28日	東光 役員会	東旭川に行く機会があったが、動物園通の排雪が悪かった。標識の高さまで雪がたまっていた。旭川の顔の道路なので、特区にするなりして班を増やして、綺麗に排雪した方が良いと思う。	動物園通は北海道の管理で道と連携を取って情報共有していますが、道も厳しい状況の中で除排雪を実施されているとのことなので、現状は把握していると思いますが、なかなか作業が追いつかない状況にあったと思います。
5月28日	東光 役員会	雪でスタックして立ち往生してしまった車がいた場合に土木事業所に連絡して良いものか？	市では立ち往生した車を動かす体制は取っていません。

◆その他

開催月日	地区名	意見内容	回答内容
5月29日	神楽・ 緑が丘・ 西神楽 役員会	住宅前道路除雪事業について、昨年度から町内会への協力金の値段が上がったが、R4年度とR5年度の実施件数を教えて欲しい。	神楽・緑が丘・西神楽地区の間口除雪対象者数は319世帯、町内会などの協力団体が53件、残りの266件が除雪業者で実施となっています。
5月29日	神楽・ 緑が丘・ 西神楽 役員会	空き家の屋根雪の問題、行政で対応可能か。	空き家から道路上に落雪があった場合には、土木事業所や土木管理課で対応しますが、隣地の民地内に落雪する場合には、建築指導課が窓口となり、近隣住民からの情報を元に調査や持ち主への指導を行います。
5月29日	神楽・ 緑が丘・ 西神楽 役員会	町内会で地主と交渉し、空き地にポールを立てたりして除雪の雪を入れられるようにしてるが、使われてない。使わないなら作業を行わない。	何年か前からシーズン前に除雪機械の作業で空き地を使えるかどうか、センター長と市民委員会で決めています。今一度確認をし、使えるか否か精査します。
5月31日	春光・ 春光台・ 鷹の巣 役員会	環状線で2車線が急に1車線になっていた状態が1週間以上続いた。道と連携しているのか。	環状線は北海道の管理で延長が長いため、道と連携を取って情報共有していますが、タイミングが合わないことがあります。
6月21日	神楽・ 緑が丘・ 西神楽 書面会議	除雪の一時堆積場として利用していた空き地が、年々住宅建設により少なくなっている。 J Aの選果場の敷地を利用させてもらうような方策は検討できないか。 交差点の角にかなりの雪を積み上げる箇所が発生し、見通しが相当悪くなることがある。	市では運搬排雪の減量化や雪処理施設の負担軽減などを目的に、地域の雪押し場の確保に取り組んでいますが、融雪後のゴミや融雪の遅れなどに対する周辺住宅への配慮が必要となります。そのため、市民協働の取り組みとして町内会などが空き地の土地所有者と協議し、理解が得られ、無償での借用が可能で、除雪企業が効率的に道路除雪できる場合に利用しています。 また、交差点の雪山の見通し確保の対策として、排雪の際に交差点角の雪の45度カットを実施していますが、パトロール等により状況を確認し、必要に応じて適宜対応を行うなど、安全確保に努めます。